

教学マネジメントセミナー2026

「多文化共修を通じた学修成果を考える ～効果的な授業設計と運営方法を参考にして～」

【趣旨】

金沢大学は、令和6年度に、文部科学省「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」の採択を受け、学士課程から博士前期課程（修士課程）を通して、多文化共修に関する授業科目を新たに開発し、令和8年度より本格実施します。

本学では、多文化共修科目の定義を「授業内容に実社会の課題に関連する内容を含み、履修者が持つ多様な背景や視点に基づいて問題を検討する内容を含む授業を指す」としてありますが、その学修成果は、これからの授業実践等を通して明らかとなっていきます。

本セミナーでは、他大学における多文化共修に関連した効果的な授業設計と運営方法に学ぶため、大正大学 井上 雅裕 教授と立命館アジア太平洋大学 カッティング 美紀 教授を講師にお招きし、多文化共修を通じた学修成果について、参加者とともに考えてみたいと思います。

なお、本セミナーは、本学が採択を受ける文部科学省「大学の国際化によるソーシャルインパクト創出支援事業」の一環として開催いたします。

開催日時：

3月26日（木）

10:00～12:00

（詳細は裏面をご覧ください）

実施方法：

Zoomによるオンライン開催

対象：

大学関係者ほか、どなたでも参加可能

【申込方法】

参加ご希望の方は、以下URL又は二次元コードにてアクセスし、必要事項を記入の上、

3月23日（月）までにお申込みください。

参加申込者には、別途、Zoomアドレスをメールにてご連絡いたします

（参加申込URL）

<https://forms.office.com/r/caALSLnmJv>



主催：教学マネジメントセンター、FD委員会

共催：ソーシャルインパクト創出のための多文化共修キャンパス形成推進本部多文化共修部会、
教務委員会、公益社団法人 大学コンソーシアム石川

【問い合わせ先】学務部 学務課 学務企画係

E-mail: gakukikaku@adm.kanazawa-u.ac.jp

≪構成≫

3月26日（木）

10：00～10：10 開会あいさつ

金沢大学 理事（総括・大学改革・教育・情報担当）／副学長 森本 章治

10：10～10：45 基調講演(1)

「大学教育における多文化共修の可能性と課題

～国際PBLやマイクロレデンシャルの実践と機能から学ぶ～」

大正大学 教授、芝浦工業大学 名誉教授

一般社団法人日本マイクロレデンシャル機構 理事 井上 雅裕 氏



【経歴】

早稲田大学大学院理工学研究科 物理学及応用物理学専攻 博士前期課程修了、博士（工学）、技術士（情報工学部門）、Project Management Professional (PMP)、シニア教育士（工学・技術）

三菱電機株式会社、芝浦工業大学教授、同副学長、慶應義塾大学大学院特任教授を経て、2025年4月より大正大学教授。一般社団法人日本マイクロレデンシャル機構理事 標準化委員会委員長、一般財団法人オープンバジネットワーク理事、一般社団法人PMI日本支部理事 教育国際化委員会委員長。

10：45～11：20 基調講演(2)

「多文化共修を支援するスチューデント・アシスタント(SA)の機能と効果

～学修者中心の教育の実現のためのプラットフォーム～」

立命館アジア太平洋大学 教育開発・学修支援センター長・教授

カッティング 美紀 氏



【経歴】

The University of Arizona Master of Arts in English as a Second Language 修士課程修了、熊本大学 社会文化科学教育部 教授システム学博士課程修了、博士（学術）。神田外語大学Center for Self-Access Learning Center, English Language Institute 講師を経て、2012年より立命館アジア太平洋大学 教育開発・学修支援センター准教授、2023年 同センター長・教授。専門分野は、教授システム学（インストラクショナルデザイン）、国際教育、外国語教育。

11：20～11：55 意見交換・質疑応答

11：55～12：00 閉会あいさつ

金沢大学 副学長（教育改革・企画評価・ダイバーシティ推進担当）／

全学教育・国際共修機構長／教学マネジメントセンター長 尾島 恭子

[全体進行・ファシリテーター：

金沢大学 教学マネジメントセンター副センター長・教授 林 透]